

令和6年度 第2回隠岐高等学校 魅力化コンソーシアム合同委員会 議事録

開催日時 令和6年11月26日(火) 16:40~16:10
会場 隠岐高校 総合実践室
出席者 会長 野邊様、 副会長 石倉校長、 監事 橋本様
役員 金井様、米津様、牧尾様
委員 金田様、齋藤様、谷本様
委員 高橋、若林、福島、佐々岡、安部
事務局 山中、若岡、竹崎、井上、竹内

議事録

1. 会長あいさつ
2. 校長あいさつ・学校現況報告
3. 第2回役員会の報告

(1) 関西研修旅行について (井上)

Q 研修旅行に行く前と行った後の生徒の変化の違いは？

A 行く前は生徒も教員も発表に不安があったが、1日目の大学での発表でいただいたご指摘やアドバイスを受けて自分たちの振り返りを行い、2日目の企業での発表でさらに発表の質が高められた。

Q 発表に関して毎年厳しいアドバイスを生徒にいただくと聞くが年々発表のレベルは上がっているか？

A 厳しいご指摘はいただくが、隠岐高校への期待が高い表れだと生徒も感じているので前向きにとらえて今後も質を上げていきたい。

Q 大学・企業はどこに行って何人くらいに発表を聞いていただいているか？

A 大学は、関西学院大学・立命館大学・大阪大学の3大学、企業は、ナレッジキャピタル・パナソニック・コベストロジャパン・帝人・モンベル・日本航空の6社。

大学では院生や学生が入れ替わりで発表を聞いてコメントをいただくが、だいたい10~20名くらいではないか。企業は10人以下のところが多い。

(2) 生徒募集の状況について

県内(安部) 県外 365(竹崎)

Q 中学3年生を対象に説明会を行っているが、中学1.2年生にも隠岐高校の魅力が伝わる仕掛けづくりを考えてほしい。中学生保護者が参加可能な説明会や保護者対象の説明会を企画しても良いのでは。

Q 県外生徒募集について、合同説明会と学校説明会、特別イベントの違いは何か。

A 合同説明会は地域教育魅力化プラットフォームが実施。オンラインで各校限られた時間設定の中で行うものである。この説明会を聞いた後に学校の説明会に来てもらうことになっている。

学校説明会は学校独自に設定するが時間が制限されている。参加人数がかなり減っている。

特別イベントは個別説明会であり一人ずつ対面で行う。

地域教育魅力化プラットフォームに頼りすぎる運営を見直す必要がある。

(3) 高校魅力化アンケート結果について (竹内)

(4) 進路状況について (佐々岡)

(4) 今年度の新たな取り組みについて

DXハイスクール (山中)

三菱みらい育成財団事業 (若岡)

○質疑応答

なし

令和6年度 第2回隠岐高等学校 魅力化コンソーシアム魅力UP委員会

開催日時 令和6年11月26日(火) 16:15~16:50
会場 隠岐高校 総合実践室(東側)
出席者 委員長 橋本様、役員 牧尾様、
委員 齋藤様、谷本様、
委員 高橋教頭、若林総務部長、
事務局 山中(進行)・井上

議事録

①橋本委員長 挨拶

②意見交換

「隠岐高校の魅力発信について～島内の大人向けに～」

(事務局) 島内の中学3年生が島外の高校に進学していくなかで、隠岐高校の魅力をどのように伝えていくべきか?

(金井役員) 現在の中学3年生は部活動や専門学科(福祉など)を理由に島外、県外の高校を目指す生徒が多い。進路選択のさいに、隠岐高校という選択肢があったのか。
中学1・2年生に向けて、隠岐高校の取り組みや進路状況を伝えることも必要ではないのか。

(牧尾役員) 中学生と高校生が部活動等で交流してみるのはいかがでしょうか。学校や部活の雰囲気もわかる。

(高橋教頭) R7年度より特色選抜が始まる。この入試の変更によって、受験者数も大幅に変更になる可能性がある。

★高校1・2年生の生徒や保護者が進路選択するさいに、隠岐高校が選択肢の1つに入っていることが重要である。高校1・2年生の生徒や保護者を対象に、高校説明会などを開催していくことも考えていくことが必要。

令和6年度 第2回隠岐高等学校 魅力化コンソーシアム Society5.0 対応人材育成委員会

開催日時 令和6年11月26日(火) 16:15~16:50
会場 隠岐高校 総合実践室(西側)
出席者 役員 PTA会長 米津様、
委員 隠岐の島町商工観光課商工労働係 主事 齋藤様
佐々岡進路部長、福島生徒指導部長、安部商業部長、
事務局 若岡(進行)・竹崎

議事録

○規定見直しについて

R5年度末学校評価より
学校運営協議会より
見直しの目的
実施の流れ(5月~7月)
決定事項

1. 携帯(変更)
2. 服装・頭髪(継続審議)

○服装

- ・体操服着用 いいのではないか、問題ない
- ・授業の中で受けるべきか
(米津役員)・制服で受けるのは逆になぜか
(齋藤委員)・同じものでは特に問題ないのでは。ベスト・カーディガンは物が増える→親も大変
- ・パーカーは考えられない
- ・スカートの長さは規定あり。大半が違反しているのが事実。
(若岡)・教員の方から指導がしにくい現状。難しい。
(米津役員)・地域から見ていて特に気にならない(見ていない)。
(齋藤委員) 良いのではないか。ルールが作れるものであれば。

○頭髪

- (米津役員)・化粧は認められていないのでは。実態に合っていない。
- ・細かく決めてすぎではないか
(齋藤委員) 何とも言えない。
- ・色をつけるのもストレートパーマも一緒では

Society 5.0 委員会では、主に規定見直しについて議論することができた。地域目から見た隠岐高生の服装・頭髪、携帯電話の規定についての建設的なご意見をいただいた。今回頂いたご意見を参考にしながら、本校の今後の指導や規定見直しに役立てていきたい。